

指摘のあった点	修正内容等
<p>P 1 第1章 計画策定の趣旨</p> <p>1 計画の策定と目的</p> <p>①「市民安全情報第27号」によれば、当該期間内（12月12日）での犯罪15件の内、40%に該当する6件の「自転車盗難」がニュータウン地区で発生している現状から広報啓発（また自転車保険加入）の促進に加えるべきである。</p>	<p>①防犯上の観点から貴重なご意見として受け賜わります。</p>
<p>P 2 第2章 自転車利用の現状及び環境</p> <p>①自転車の保有台数及び交通手段としての分担率のデータが古いため他のデータと換えてはどうか？</p> <p>②国内の状況が記載されているが第3章では県の状況が説明されていることからここでは県の状況並びに市の状況を報告すべきである。</p>	<p>①一般社団法人自転車協会資料（平成16年から平成20年まで）、第5回東京都圏パーソントリップ調査から（一財）自転車産業振興協会による調査及び総務省住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（平成24年～平成28年）、平成27年全国都市交通特性調査（国土交通省）に変更。</p> <p>②ご意見として参考にさせていただきます。</p>
<p>P 3 2 自転車駐車場の設置状況</p> <p>①料金の有料・無料の違いがあるが、その理由・根拠を注意書きすべきである。</p>	<p>①ご意見として参考にさせていただきます。</p>
<p>①第2章P4表2、表3 P5表4は年度集計であり、第3章P11表5、P12表6は年度集計となっており、更に第4章P16では年集計、P17では年度集計となっているが、その集計根拠並びに理由を但書すべきである。</p>	<p>①ご意見として参考にさせていただきます。事故件数等については、交通白書や警察からの提供データを基にしているため年集計となり市の施策等に関するデータは会計上年度による集計になっています。</p>
<p>P 4 有料自転車駐車場の利用状況</p> <p>①表2で「契約率」は理解できるが表3の一時使用台数についての「使用率」も同様に算出・揭示すべきであり、併せて「稼働率」のような利用効率を示すべきである。</p>	<p>①ご意見として参考にさせていただきます。</p>
<p>P 5 4 自転車歩行者専用道路等の状況</p> <p>P 6 5 放置自転車の状況</p> <p>①関連性を持たせるため、内容を入れ替えた方がよい。</p>	<p>①掲載ページを入れ替えました。 目次も変更</p>

指摘のあった点	修正内容等
<p>入れ替え後</p> <p>P 5 4 放置自転車の状況</p> <p>①駅周辺に駐車されている自転車が必ずしも「放置自転車」としてカウントされているとは思えないことから、ここでは「放置自転車」の定義を記述すべきである。</p>	<p>①放置についての説明、放置禁止区域内、区域外の放置自転車に対する措置について記載させていただきました。</p> <p>また、データについては、放置自転車の撤去数の削減を目標として掲げていることから、平成26年度から平成29年度に印西市内で撤去された放置自転車の実績に変更いたします。</p>
<p>P 6 自転車歩行者専用道路等の状況に関して</p> <p>①「歩行者と自転車が安全に通行」とあるが例えば歩道上で背後から相当な速度での自転車による追い越し・通り抜けは異常な恐怖を引き起こすことになることから具体的な「歩行者が安全に歩けるような対策」を記述すべきである。</p>	<p>①ご意見として参考にさせていただきます。</p> <p>今後も歩行者と自転車が安全に通行できるような対策を検討してまいります。</p>
<p>P 7 6 自転車の安心・安全利用に関するアンケート結果</p> <p>①調査対象607名とあるが回収数・回収率も示すべきであり各グラフにも「割合」のみでなく「実数」も示すべきである。</p> <p>② P 7以降のアンケート結果は、中高生の年齢層のアンケート結果と推測されます、また、この年齢層については、条例による運転者・教育機関保護者の責務などによる安全に関する指導・周知する機会が多い年齢層であります。</p> <p>当市の同年齢層の人口は約5～6千人と思われ、保・幼・小学生を加えると約15,000人となります。</p> <p>この状況でのアンケート結果が、各項目とも「いいえ」の回答が多いのには驚きました。</p> <p>指導・周知の方策に何か欠陥があるのではないかと、原因を究明して次の計画に移行すべきと思います。</p> <p>また、原因者・被害者の多い高齢者層への指導・周知の機会について、講習会などによる指導・周知の実施は、高齢者の何%に対して行われるのかわかりません。</p> <p>当市の高齢者クラブの参加人数は、高齢者の急激な増加傾向にある印西市の65歳以上の高齢者層約20,000人のうち3,000人以下で高齢者層の10数%程度でありむしろ減少傾向にあります。</p> <p>交通安全教室の実施での指導・周知を図る方策等で十分なのか疑問が残ります。</p> <p>そのほか、通勤者が多く利用する駐輪場をみても、ヘルメットを見かけることが殆どありません。</p> <p>駐輪場を利用する人たちも、ヘルメットを着用していないものと推測され、駐輪場利用者に対する指導・周知については、多くの人が市外への通勤のため、指導・周知の方策を考えることが必要と思います。</p>	<p>①回収率（100%）、実数について記載します。</p> <p>なお、調査対象の数が間違っていたため607人から645人に訂正、また無回答をカウントしていなかったため加えてデータを修正します。</p> <p>ヘルメットの着用93%→92%</p> <p>自転車保険の加入74%→69%</p> <p>防犯登録84%→80%</p> <p>条例を知っているか29%→28%</p> <p>②ご意見として参考にさせていただきます。</p> <p>より効果的な自転車の安心・安全な利用の指導・周知について今後も検討してまいります。</p>

指摘のあった点	修正内容等
P 1 4 イ. 類型発生状況に関して ①表 8 から自転車の交通事故 3 1 件について表 7 の性別及び年齢層別発生状況を示すべきである。	①ご意見として参考にさせていただきます。
P 1 5 第 4 章 前計画目標の検証及び指標の設定 1 前計画目標の検証 ①目標達成のために実施した施策を載せてはどうか。 ②表 9 自転車交通事故による死者数・平成 2 9 年 1 人は、極めて稀なことからも事故状況（事故場所・原因・課題等）紹介説明すべきである。 ③表 9 交通安全教室参加者数の増加での実績値は年集計となっているが年度集計とすべきである。	①実施した主な施策を掲載 ②ご意見として参考にさせていただきます。 ③年度に修正しました。
P 1 6 2 指標の設定 ②自転車交通事故による死者数の削減 ①2 0 1 9 年から 2 0 2 3 年までの 5 年間ではなく、各年において自転車事故による死者数を 0 人とすると表現を変えた方がよい。 ②2 0 1 9 年の欄に「直近 2 0 1 8 年自転車交通事故件数」を参考に書き入れるべき。 ③2 0 2 3 年の欄に「（平均 3 3 件以下）」とあるが脚注に「平均の意味」を記述すべきである。	①各年において自転車事故による死者数を 0 人とするに変更 ②平成 3 0 年 1 1 月末現在の数値を記載。 ③目標の説明部分に記述します。
P 1 7 交通安全教室参加者数の増加 ①2 0 1 9 年度の欄に「直近 2 0 1 8 年度参加者数」を参考に書き入れるべきである。 ②2 0 2 3 年度の欄に「7, 8 5 1 人」とあるが脚注に「平成 2 6 ～ 2 9 年度の平均値 7, 1 3 7 人を基準」と記述すべきである。 ③2 0 1 9 年度の欄に、「直近 2 0 1 8 年度台数」を参考に書き入れるべき。 ④2 0 2 3 年度の欄に「（平均 1 8 3 台以下）」とあるが、脚注に「平均の意味」を記述すべきである。	①平成 3 0 年 1 1 月末現在の数値を記載。 ②ご指摘のとおり記載。 ③平成 3 0 年 1 1 月末現在の数値を記載。 ④目標の説明部分に記述します。 なお、P 5 放置自転車の状況のデータを変更したため平成 2 6 年度から平成 2 9 年度の市内の放置自転車の撤去数の平均値（1 9 3 台）を基準に 1 0 % 削減（1 7 3 台以下）を目標に設定します。
P 2 0 3 自転車損害保険等への加入促進 ①グラフの単位の記載がない。 ②高額賠償事例を載せたほうがよい。	①グラフに単位を記載 ②高額賠償事例を記載
P 2 1 表 1 0 保険の種類 ①保険の補償内容等について記載した方がよい。	①各保険の補償内容を記載
P 2 2 4 自転車乗車用ヘルメットの着用促進 ①グラフの単位の記載がない。	①グラフに単位を記載
奥付をつけるべき	記載します。